



e コミュニティ・プラットフォーム2.0の紹介

地域社会を支える参加型のコミュニティ情報基盤 Web システム

防災システム研究センター 研究員 岡田真也

はじめに

e コミュニティ・プラットフォーム2.0 (略称 e コミ2.0) は、「災害リスク情報プラットフォーム研究プロジェクト (BOSAI-DRIP)」の一環として開発した、地域社会を支える参加型のコミュニティ情報基盤 Web システムです。

e コミ2.0は、インターネットと携帯電話を用いて、人と人がつながるきっかけをつくり、それを深め、さらに広げる場を提供します。

e コミ2.0を使って、地域の住民の方々やコミュニティが自由・活発に情報共有や意見交換を行なうことで、防災をはじめとする地域の様々な課題を皆が共に考え、解決に向けた第一歩を踏み出すためのお手伝いができると考えています。このシステムは、どなたにでも使っていただけるよう、平易な操作インターフェースを採用し、またプログラム (ソースコード) を無償で提供しています。

e コミ2.0の特徴とツール

e コミ2.0の特徴を図1に示しました。また、e コミ2.0はすぐに使える様々なツールを予め用意していますので、その一部を紹介します。

(1) ブログ機能

ブログ (日々更新される日記的な Web サイトの総称) 機能を使って、日常的に気軽に情報発信すると共に、コメント欄を利用して密度の濃い意見交換を行なうことができます。

(2) 掲示板機能

いろいろな人々が集まって意見交換や議論を行なう場として利用いただけます。コミュニティ内で地域の課題を話し合うことや、他のコミュニティと交流を深めることができます。

(3) マップ機能

地図を用いた情報共有が可能です。アイコンや自由線、枠囲いといった柔軟な表現方法で情報の登録・記入ができ、どの場所・エリアに関する情報なのか直接指し示すことができます。身近な話題から地域の課題まで様々な用途に利用いただけます。公的機関が提供するハザードマップとの重ね合わせ表示等が可能な、より高度なマップ機能はe コミマップと呼ばれ、e コミ2.0の中で重要な機能の一つとなっています。

(4) RSS 受発信機能

各 Web サイトが発信している情報の見出しである「RSS」を自動的に収集して、自身の Web ページ中表示することができます。逆

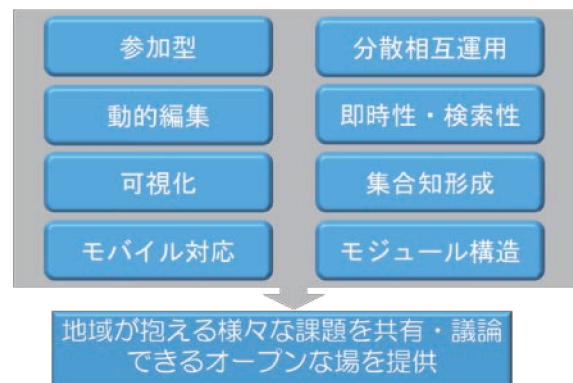


図1 e コミ2.0の特徴

に、自らが発信したブログ等の情報も、RSS 機能を利用して最新情報を配信することができます。

(5) 携帯電話によるアクセス機能

携帯電話から e コミ 2.0 にアクセスすることができます。いつでもどこからでも e コミ上で情報を発信することが可能です。

(6) その他の機能

画面デザインをワンタッチで切り替えるスキン変更機能等、Web ページを楽しく簡単に使いこなす機能や、メッセージの斉同報配信といった、より豊かなコミュニケーションを実現する機能等、様々なツールを用意しています。

想定している利用シーン

(1) 市町村等の自治体では、参加型の地域コミュニティ Web サイトや住民向け個人ポータルサイト、地域 SNS、地図ポータルサイトを容易に構築・運用することができます。

(2) 自治会・町内会、連合町会等の住民組織の情報共有や活動支援ツールとして、掲示板や地図等を設置し、一般公開情報と非公開情報(関係者だけに公開する情報等)を分けて情報提供・共有することができます。

(3) 複数の町内会や各種地域団体から構成される地区内分権型の住民自治組織による包括的な地域経営の運営ツールとして利用できます。

(4) 市民活動団体、NPO、コミュニティビジネス等における様々な活動の交流・協働を支援する中間支援プラットフォームとして、また、市町村や事業者、福祉団体等との市民協働をプロデュースするツールとして利用できます。

(5) 学校等の公的機関や PTA 等、新たな公共や地域経営のパートナーとなる各種地域団体が、それぞれ独自に汎用的な目的で利用しながら、必要に応じて自治体等と相互に情報を交換・共

有し、サービスを連携することができます。

(6) 自治会・町内会を基盤とする自主防災組織や住民主体の避難所運営組織が、平常時および災害時に上記(1)～(5)の主体と協働し、地域内外の社会資源や人的ネットワークを活用して、地域の災害対応力を高めるためのツールとして利用することができます。

e コミ 2.0 を利用した例として、つくば周辺地域の身近な話題や生活情報、イベント、市民活動等を一般市民の目線で取材して発信している「つくば市民レポーター」があります(図 2)。



図2 e コミ 2.0 を使用したつくば市民レポーターのサイト (<http://reporter.e298.jp>)

NIED では自治体を対象に、本システムを利用した実証実験への協力団体を募集しています。選定された協力団体に関しては、NIED がシステムの導入・運用を支援します。

詳しくは…

e コミ 2.0 の公式 Web サイトには、利用例やマニュアル等をはじめ、e コミに関する詳しい情報が公開されていますので是非ご覧下さい。

<http://www.bosai-drip.jp/ecom-plat/>